



東連携型小中一貫校 いじめ問題解決に向けた教育懇談会

学校運営協議会が主催する「いじめ問題解決に向けた教育懇談会」が、11月30日（火）藤岡公民館で開催されました。感染症に配慮して区長会、民生委員児童委員協議会、青少年育成推進員連絡協議会、更生保護女性会、各校PTA、学校より代表者の方へ出席していただきました。また、田中政文教育長様をはじめ藤岡市教育委員会の皆様にもご臨席をいただきました。

はじめに、藤岡市全体、及び、東連携型小中一貫校のいじめの現状と取組について説明が行われ、その後、参加者が8グループに分かれ、来年度に向けて制作中の「EAST 子育てアクションプラン」（各組織の行動目標）についての熟議を行いました。特に、いじめに関わる項目として、「地域の取組」の豊かな心を育むアクションについて、学校運営協議会より提案した3つの案に対して、たくさんのご意見をいただきました。その主なものをご紹介します。

熟議

テーマ「EAST 子育てアクションプラン」を实践して、いじめのない地域をつくろう

地域の取組について

アクション1 「 大人が率先してあいさつや感謝の言葉を言います 」	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大人が率先してあいさつをし、それを継続する。続けることで、今までできなかった子もするようになってくる。 ・子どもの名前を言ってから、あいさつをするように心掛けることは、学校が取り組むネームプレート活用に通じる。（自己存在感を高める効果） ・子どもだけでなく、大人同士があいさつをすることは、地域の防犯にもつながる。
	
	熟議の様子
アクション2 「 近所で気になる子を見かけたら一声かけます 」	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに「見守られている」という実感を持たせる。 ・いじめられている場面や気になる子を見かけたら、すぐに学校に連絡を入れる。 ・子どもたちだけでなく、家庭全体の様子を見守る。 ・地域の見守り隊を強化するなど、子どもが安心して登校できる環境作りを目指す。
アクション3 「 お祭りや地域行事など子どもとの触れ合いを大切にします 」	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事の中で子どもたちに成功体験を味わってもらい、それをみんなでたたえる。 ・地域行事の中で大人と関わるのが大切、お互いを知ることによって何かあったときにすぐに声かけられる。 ・伝統文化を守る取組が必要。お祭り等の行事は地域の連帯感を高める。防犯の意味でも有効。 ・お祭り以外でも、交流の場、出会いの場が地域にあると良い。 ・地域の人にも学校行事に参加してもらう。 ・学校のボランティア活動を積極的に行う。
	
	グループごとの発表
* 「 学校・家庭の取組について 」もご意見をいただきました	
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも学校でも自分に自信を持たせることが大事。自分の意志が伝えられる子、周囲に流されない子を育てる。（自己存在感、自己肯定感を高める） ・SNSの使い方を家族で話し合い、それぞれの家庭のルールを決め、実行させる。（情報モラルを身に付ける） ・「苦手をなくす」から「得意を伸ばす」へ。 ・人権を意識し、「思いやり」の気持ちを育てる。（人権教育を推進する） ・小学校のうちに、三校の児童が交流する機会を作る。（小小連携によるいじめ・不登校防止）

まとめ

- ・「家庭の取組」キーワードは「愛情」・・・保護者が子どもに愛情をかけられる一番の存在です。
 - ・「地域の取組」キーワードは「つながり」「信頼関係」・・・多くの目で子どもたちを見守ることで、健全な社会ルールが身に付けられます。
- 今後も学校・家庭・地域が連携して、この地域からのいじめ根絶をめざしましょう。

* 「EAST子育てアクションプラン」については、今年度中の完成を予定しております。